

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

とう 雲 稲 雲

令和2年4月28日発行

発行者：校長 小貫 崇明

第2号



○校舎・校庭に子ども達の笑顔と歓声が戻り…

ご存知のとおり、4月6日(月)から始まった令和2年度でしたが、市内での新型コロナウイルス感染が確認されたことをうけ、2日間だけ登校し、すぐに21日(火)まで臨時休業となっていました。また、感染者増加により、さらに5月6日(水)まで臨時休業が延長されるなど、落ち着いて学校生活を送ることができなくなっています。

そんな中、今までの休業中の過ごし方を振り返り、今後の家庭での学習課題の確認や生活指導をするため、22日(水)に登校日を設定いたしました。久々に集まった子ども達、校舎や校庭では元気いっぱいの笑顔や歓声をはじめていました。



初めての旗の掲揚(児童生徒会)



きれいに整備されたメディアセンターでの本の貸出



部活動の顔合わせ



広い校庭で走り回る



手洗い・うがいを忘れずに



新校舎をバックに8年生



1年生も一緒に下校

○臨時休業後の準備や行事について～7日(木)から再開予定～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月6日(水)までが臨時休業となっていますが、事態収束が思うように進まず、休業が延長された場合も想定し、5月7日(木)と8日(金)は、お弁当の日に変更いたします。ご準備よろしくお願いいたします。

また、5月16日(土)に予定しておりました運動会は、2学期に延期します。詳しい期日は、今後の状況を見据えながら決定してまいります。



★ことばのちから(2) 「人間は、人間を浴びて、人間になる」

世の中には様々な人間がいて、そのたくさんの多様な人間に出会い関わる中で、人間は自分の人間としての幅を広げていきます。学校は、子ども達が様々な友だちや先輩・後輩、そして先生方など、多くの人とのふれあいの中で、自分を成長させていく場所です。その中でも、稲田学園は、一緒に生活する人間の年齢の幅が、他の学校に比べ広いという大きな特徴があります。できるだけ早期の新型コロナ問題終息を願わずにはられません。